
なみだ

美雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なみだ

【Nコード】

N5185A

【作者名】

美雪

【あらすじ】

あたしが恋をしたひとはとても優しくて…すごく残酷なひとだった

『じつわずつと大好きでしたああ（　　）付き合ってくださいな
んつ（・・ハ*）／＼』

ふざけたメールに見えるかなあ？きつと冗談だとられるだろうな。
そんなこと考えながらあたしは送信ボタンを押してしまった。

『どーせ嘘だろ？笑』なんて返ってくるんだろうな。そしたらもう
あたしの気持ちはなかったことにしてしまつて、冗談にしまつ
て、あのひとのことなんて忘れてしまおう。忘れてしまわなきゃも
う壊れてしまいそうだから…。

1時間ほどが過ぎた時あたしの携帯が鳴った。
震える指であたしは携帯を手にとつてボタンを押した。

『すごく嬉しい。お前と一緒にいたらすごく楽しいし俺にとってお
前はほんとに大事な友達だから。だからこれからもずっと友達でい
てほしいんだ』

冗談には、できなかった。

そういえばあのひとは人の心がよくわかるひとだった。そして、優
しいひとだった。わかつてたんだそんなこと。忘れられるはずなん
てないよ。もつと突き放してほしかった。傷つけてほしかった。で
もあのひとは絶対そんなことはしない。そんなところが……大好き
なんだ。友達でいてくれなんて残酷すぎだよ。

ありがとう、とかなんとか適当に言葉を並べてメールの返事を作つ
たあたしは最後に最高に辛い嘘を書いた。『ずっと友達でいてね』
あのひとが望むなら完璧な『友達』を演じてみせるよ。あのひとの
側にいたいから。そのためならどんなに辛くても頑張るから。だか
らねえ……今は泣いてもいいでしょう？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5185a/>

なみだ

2010年12月1日07時24分発行